

伊達松風

題字 松浦常雄

第 71 号

令和5年9月2日

発行者
福島県公立学校
退職校長会伊達支部長
古 宮 睦 男

巻頭言

会の現状と

県大会報告



支部長
古宮 睦男

コロナも第五類に該当したとのことで、久しぶりに新幹線に乗りし遠出をしました。車内でパソコンを広げ仕事をする人が多く、移動中も休めないのかと少し気の毒に思いました。昔のやり方では間に合わないのでしょうか。

さて、今年度の支部への新入会員はいませんでした。定年延長、学校数の減少、他地区居住者の増加等の影響で該当者がいなかったのです。今年度は特別としても、会員数の減少と高齢化は今後も続くと思われる。県全体でも同様で活動予算を含め大きな課題となっています。

従来の運営方法では対処できな

い場合が出てくるのが予想されます。活動内容を考え直し、多くの会員が参加でき、充実感を得られれば素晴らしいことです。そのためにも会員皆様方の知恵をお借りしていきたいと思えます。これらの課題は本会だけでなく、様々な団体の課題でもあり成功例があれば取り入れていきたいと考えます。よろしくお願いいたします。

福島県公立学校退職校長会郡山大会が六月十四日に郡山市で開催されました。コロナの影響で四年ぶりの開催で、伊達支部からは石岡恒憲先生、渡邊勝則先生、蓬田吉穂先生と私の四名が参加してきました。

講演では「近代日本の礎 安積良齋」と題し、安積国造神社の宮司安藤智重様から貴重なお話を拝聴しました。江戸から明治にかけて儒学者として名を上げ、昌平坂学問所教授になり、吉田松陰や岩崎弥太郎に大きな影響を与えた安積良齋の功績を知ることができま

した。他地区の先生方とも久しぶりにお会いし旧交を温めることができました。

就任挨拶



副支部長
穴戸 弘治

この四月に副支部長になりました穴戸弘治と申します。微力ではございますが、みなさまのお力添えをいただきながら、伊達支部の発展のために誠心誠意努めてまいる所存でございますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

現在、私は伊達市教育委員会教育委員とともに伊達高等学校梁川校舎の学校評議員をしており、常々小中高の連携について考えてまいりました。今後は、伊達支部と伊達管内の小学校、中学校、そして伊達高校、さらには伊達支援学校との連携について考えてまいりたいと思っております。連携の大きな輪ができれば、伊達管内の教育にとっても大きな前進につながるのではないかと、期待を込めて考えておるところです。



三年ぶりの対面総会

と き…令和五年四月二十二日(土)
と ころ…伊達市保原中央交流館
コロナ感染症の流行により令和二～四年度まで書面支部総会としてきましたが、この度四年ぶりに対面開催できました。

来賓に伊達市教育委員会教育長の菅野善昌様、退職公務員連盟伊達支部長の高橋徹様、伊達地区小中学校長協議会長の遠藤和宏様をお迎えし、二十数名の参加者を得て開催となりました。

総会では初めに逝去された会員のご冥福をお祈りして黙祷を捧げました。その後、支部長挨拶、来賓挨拶の後、協議に移り、令和四年度の事業報告、会計決算報告、令和五年度の事業計画、予算と承認いただき、会則改正の説明、役員改選(詳細は第四面)へと滞りなく進みました。

総会終了後はテーブルを囲んでの茶話会です。各々の近況を語り合い、久しぶりに和気藹々と楽しい時間を過ごしました。



祝賀詞 八十八歳

令和五年には三名の皆様が満八十八歳の米寿を迎えられました。誕生日に訪問することにしておりますが、皆様には快く都合をつけていただき、支部長から賀詞の賞状を伝達させていただきました。

誕生の年は昭和十年で、この年は日本とイギリス・ドイツ間に無線電話が開通し、また初の年賀郵便切手が発売開始されました。それではお一人ずつ生まれ順にご紹介申し上げます。

【梁川方部】
斎藤 義男 様
(昭和10年2月28日)



定年退職後、地元梁川幼稚園で三年間幼稚園長を務められました。その後、郷土史研究サークルに所属し、梁川町郷土史研究会で、梁川町史の編纂にご尽力されました。

数年前に調子を崩され、現在は週三回のデイサービスに通っているとのことですが、体型も現役時代と変わらずお元氣な姿を拝見しました。奥様と自宅で過ごされています。

【靈山方部】
田中 実 様
(昭和10年3月15日)



いわき地区の好問での新採用教諭時代の思い出や、校長時代に岩瀬地区で子供たちとソフトボールに汗を流したことが、有意義な飲み会等のことを懐かしく話されました。また、現代の教育課題にも言及され、少子化や学校統合、競争意識の大切さ等、地区の教育推進に励ましのお言葉をいただきました。

今は奥様と二人で生活し、畑仕事や散歩に親しまれているとのことでした。

【伊達方部】
土田 隆 様
(昭和10年5月28日)



大変お元氣に過ごされ、福島ゴルフ倶楽部民報コースや安達太良カントリークラブでのゴルフラウンドを毎月のように奥様と楽しまれているそうです。日常生活では特に転ばないように気を付けて、怪我の未然防止に努められています。

ヨリだクラブ

囲碁クラブ

囲碁よろしく 荒 哲也

本会は例年二回実施しておりましたが、今年の一月から活動を再開しました。今回は七月九日(日)に保原の中央交流センターで実施しました。

会員数も減り都合が付かない方もいて三名の対戦となりました。それでも囲碁は人数が少なくても十分に楽しめるのが利点で雰囲気も盛り上がりです。



対戦結果は三人とも同率の勝敗となりました。今後は年三回以上の開催をめざしているところですが、コロナ禍も収まりつつあり、再開できた喜びを噛みしめあえた一日となりました。

五七五クラブ

俳句

ヒマワリが終戦願うウクライナ
ラベンダー香りも色も鮮やかに
【国見方部】中村 洋平

夏の雨都庁のピアノ踊りけり
蝉の声唸りに合わせカンナ燃ゆ
【靈山方部】丹治 睦雄

歳時記を置き去りにして春走る
一水に一白の映えかきつばた
【梁川方部】津村 栄

川柳

不夜城とコスプレの町歌舞伎町
日本にて日本懐かし人の声
丹治 睦雄

茶柱が立って一日忙しい
老い二人ころり観音手を合わせ
中村 洋平

米寿発予約の切符は白寿行き
プーチンと対話したいとトルストイ
津村 栄

短歌

おそ霜の心配よそに桃さくら
枝もたわわに味も最高
中村 洋平

一葉の表裏の世界知り尽くし
われ天王と蝸牛誇れり
津村 栄



子どもたちの笑顔と共に



桑折万部
佐藤 吉則

町内会の交通指導を仰せつかったから、毎朝登校班の小学生六人と学校まで一緒に歩いています。最初は途中まででしたが、新型コロナウイルスに対応し、一人一人にタブレットが支給

されたことで状況が変わりました。これは学校、家庭を問わず学習が進められるようになりましたが、子どもたちにとつては大変重い荷物です。月曜日はこの他に、運動着や放課後の学童保育での着替えなどかなりの重さになります。一年生は昨年の幼稚園までは、送り迎えでしたので長い距離を歩くのに慣れていません。そこで荷物を少し持ってあげることにしました。歩く道

ながら、学校のこと、家庭でのことなど、自分の心情を素直に語ってくれます。また明日の朝が楽しみです。



放課後児童クラブと共に

月詠万部
菅野 光廣

私の退職後の十年間は、小学生の放課後生活の豊かさづくりと一緒にありました。

いわゆる学童、放課後児童クラブです。学校の教員生活と似通ってはありますが、子ども達との関係はもちろんのこと、家庭や支援員との関係もあり、戸惑うことが多く、なかなか大変です。あつという間の十年でしたが、体力的にも精神的にも充実していたように思います。

そろそろ引き際も見えてきているように思いますが、それでもまだ役

立てることがあるならと、子どもたちを前にして励んでいます。

同級生であり、友人だったK元校長が数年前に逝去してしまいました。海釣り

にと誘われていたのに、実現しないままのことでした。いわゆる第三の人生の余力を残しながら、公私ともに人生を進めなければと実感している昨今です。今後ともよろしくお願いいたします。



伊達高等学校

伝統を引き継ぎ新たな伝統へ

福島県立伊達高等学校長 高橋 文彦



今年四月、本校は百年を超える歴史と伝統を持つ「保原高」と「梁川高」が統合し「伊達高等学校」として新たな一歩を踏み出しました。本校は両校の伝統と実績を引き継ぎながら、本校舎(旧・保原高校)と梁川校舎(令和六年度まで)の二つの学び舎において、新しい校訓「学知利行」「開心見誠」「和衷協同」のもと、地域と連携した体験的な活動や地域探究型学習の実践、ICT機器を活用した分かる授業の実践、そ

して専門的・実践的な知識の資格の習得を通して、地域の未来を創造する人材の育成に努めて参ります。

また、本校は幅広い進路実現(国立大学進学から就職まで)に対応すべく普通科でありながら三つのコース制(進学キャリア・地域キャリア・ビジネスキャリア)を設定しております。特に、ビジネスキャリアについては、普通科でありながら商業科の学びができるコースとなっております。これまで保原高校商業科で行っ

ていた商品開発(地元生産者の皆様やお店・企業の皆様)の御協力のおかげで実施)や資格取得等も継続して実施して参ります。



更に、本校は伊達市唯一の県立高校として、この四月に伊達市との包括連携協定を締結いたしました。これまで以上、伊達市ならではの地域に根ざした教育実践を行って参りま

す。この四ヶ月間でも伊達市からの講演、本校生徒のボランティア参加、伊達市企画への協力(伊達フォト部・全国鉄道交流会など)等を行っております。

全教職員が一丸となり、日々の授業や部活動・生徒会活動等を通じた実践の積み重ねにより、一人一人の個性を尊重し丁寧な指導に努め、生徒の夢の実現のため教育活動を行って参ります。今後とも、保原・梁川高校の同窓生皆様及び関係者の皆様、そして支部退職校長の皆様に御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。



学校現場から

地域と共にある
学校づくり

伊達市立柱沢小学校長

小野 忠大

伊達市の新桜の名所「千本桜」と一体をなす柱沢小。眼下には美しい信達平野が広がっています。五月には四年振りとなった地域との共催による大運動会が開催されました。参加者のあまりの多さから、本校がふるさとの学校として愛されていることを実感しました。

しかし、時代と共に薄れゆく地域との関係に追い打ちをかけたコロナ。今こそ、ふるさとを学びの場とし、そのよさに触れる時と考え、ふるさと学習を立ち上げました。今年度は、縦割り班を活かした栽培活動と地域素材・人材を活かしたふるさとを知る活動を計画しました。栽培活動では、全校生でサツマイモの苗を植えました。秋には全校生で焼き芋をして味わう予定です。また、縦割り班ごとに栽培園に野菜の苗を植えました。水やりや草むしりをして、収穫した野菜はとてもおいしく感じられ、収穫の喜びを味わうことができま



した。七月には民話に親しむ会を行いました。地域にお住まいの語り部が柱沢に伝わる「あめかいゆうれい」の話をしてくれました。いずれの活動も、地域の素材・人材を生かした学習となり、ふるさとへのよさを知るきっかけになりました。

秋には、千本桜を桜の名所にまで築き上げた先人の熱い思いに触れたいと思います。子どもたちの生き生きと躍動する姿は地域に活力を与えると確信しています。今後もふるさと柱沢を中心に据える教育活動を展開して参ります。



令和5年度 退職校長会伊達支部役員

理事	県評議員	クラブ	編集委員			幹事		方 部 委 員					監事	副支部長	支部長	顧問	役職												
			委員	委員	委員	副委員長	委員長	会計	庶務	庶務	月 館	霊 山						保 原	梁 川	国 見	伊 達	桑 折							
穴戸弘治	渡邊勝則	蓬田吉穂	古宮睦男	荒哲也	津村栄	亀岡和美	蓬田吉穂	齋藤徹雄	浅野テル子	丹治睦雄	鈴木喜三郎	阿部雅好	高橋孝	矢館実也	中野茂	清野茂徳	原田徳好	渡邊勝則	穴戸正幸	三村隆二	佐藤忠夫	齋藤徹雄	穴戸弘治	蓬田吉穂	渡邊勝則	古宮睦男	石岡恒憲	大槻太	氏名

事務局より

退職校長会伊達支部は一三名の会員で令和五年度をスタートしました。支部役員は表の通りです。今年度も古宮支部長を中心に「今できる取組」を推進して参りますので、会員の皆様のご理解・ご協力をお願いします。

会則の改正について

四月の総会議案として提案した会則改正案が紙上採決の結果議決され、六月三日に施行されました。

近年、各種団体組織の口座は、犯罪防止上、国により金融機関の口座管理の強化が進められており、口座開設や名義変更時の審査は提出書類を含め厳しくなっています。本会では改正した会則による審査で問題の指摘はなく、新口座と新会則、そして新設の運営規則により活動を開始しました。

会則は会の目的や組織などの基本的な内容であり、変更には総会での議決が必要になります。運営規則は、クラブ活動や旅費額などを明文化したものです、理事会(旧役員会)で審議改正する内容です。

今後も改正があった場合や内容の解説をお知らせいたします。



各種団体総会がコロナ禍の制限がなくなり、紙面総会から通常に戻り顔を合わせての会となりました。

出席者は、お互いの再会を喜び合い席に着きました。事業計画・予算案が拍手で承認され、気分を新たにし事業推進を誓い合っていました。

気になるのが、本会は別として他団体の参加者の減少です。町内会・婦人会・寿会・PTA育成会・スポーツ諸団体等では、維持困難という問題が生じています。

私たちの経験と知恵を生かし、微力ながら地域振興発展の為に協力出来る事を実現していきたいです。(T・S)